

# ののうちまこと

発行: ののうち誠後援会  
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670  
電話・FAX 0852-52-3117  
Eメール nonouchi@mable.ne.jp

ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。  
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

後援会だより— July

発行日:2014年7月31日

## ののうちまこと

VOL  
**12**

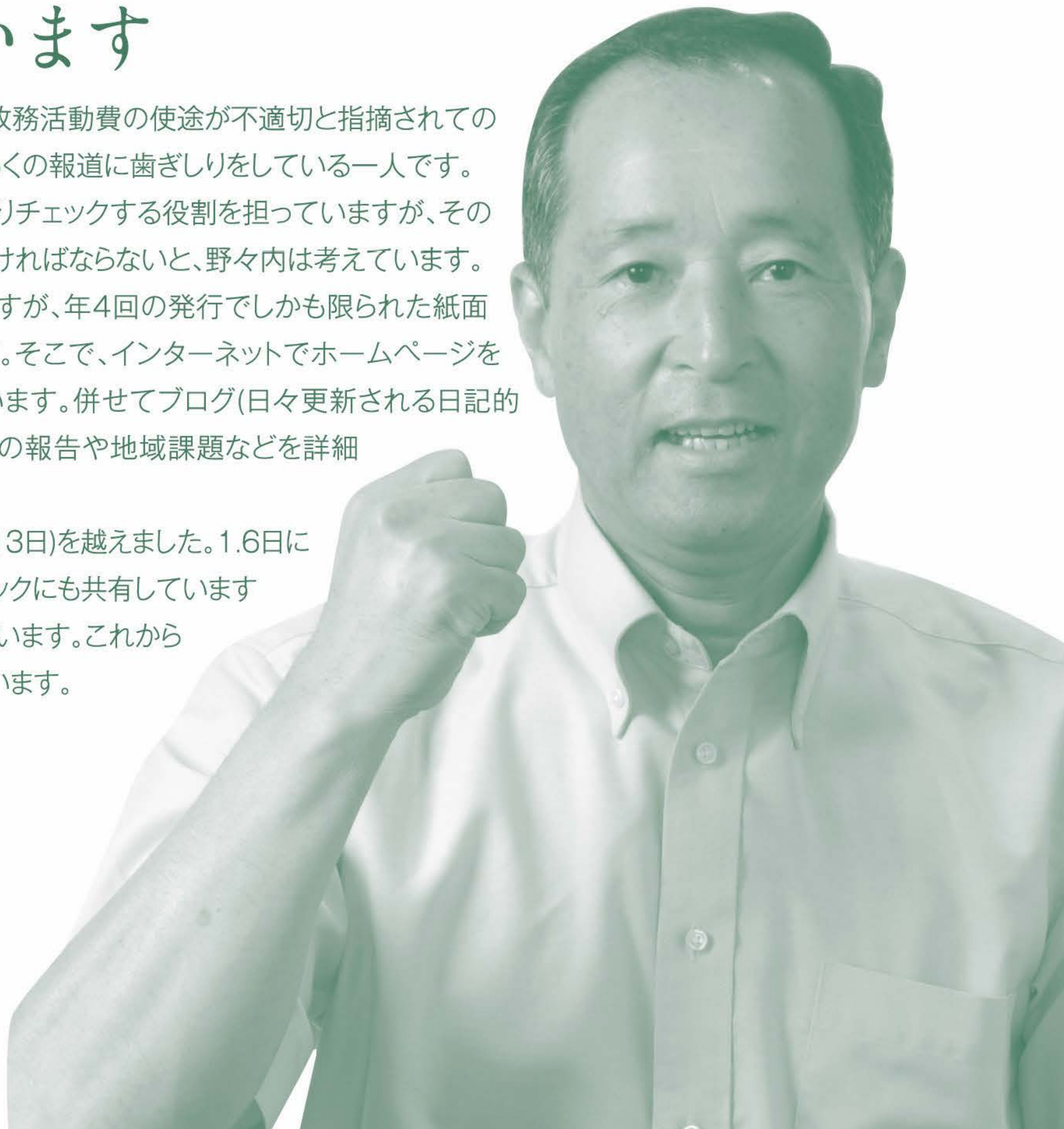
## 愚直に歩んでいます

女性べっ視のヤジ発言や覚せい剤使用、政務活動費の使途が不適切と指摘されての号泣会見などなど、最近の地方議員の体たらくの報道に歯ざしりをしている一人です。

議員は市民の代表として行政に進言したりチェックする役割を担っていますが、その活動や日常の行動は市民の皆さんに見えなければならないと、野々内は考えています。

この後援会だよりも伝える手段の一つですが、年4回の発行でしかも限られた紙面では充分伝えきれていないと思っています。そこで、インターネットでホームページを当選直後の平成23年11月から開設しています。併せてブログ(日々更新される日記的なWebサイト)も開設しており、日々の活動の報告や地域課題などを詳細にお伝えしています。

このブログは、開設から投稿が600回(7月13日)を越えました。1.6日に1回投稿している勘定になります。フェイスブックにも共有していますので、相当数の方に見ていただいていると思います。これからも愚直に歩み、議員活動を進めたいと考えています。



## 6月松江市議会

6月11日から27日までの会期で開会された松江市議会6月定例会。全ての議案を議決し閉会しましたが、このうち、「集団的自衛権行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことを求める意見

書の提出について」の請願は、所管の総務委員長の報告のとおり、賛成多数で継続審査となりました。

また、野々内を始めとする議員提出議案として提出された「松江市自転車安全利用条例の制定について」は、全員挙手で可決されました。この条例制定は、議員の政策

形成能力の向上が狙いで、今回のテーマを自転車の安全安心に定め、約1年間にわたり、議員による政策条例研究会で研究を深めてきたもの。施行は8月1日で、広報やパンフレットで市民の皆様にご案内をさせていただきます。(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

# 一般質問

野々内は、6月定例会市議会でも連続11回目の一般質問を行いました。

## Q 松江市の行政診断

### 結果の概要から

「松江市の行政診断結果の概要」の「住民数による概要分析」では、松江市の職員一人当たりの担当住民数は類似団体に比べて少なく、松江市の職員数は「多い」といえる、というものでした。住民数による概要分析に年齢ごとの分析をしていますか、近年の職員採用者とその影響をどう考えているか伺います。

また、職種毎の分析も必要です。定員管理の展開と職員の任用・雇用の充実が挙げられています。課題の解決に当たるのか伺います。



松江市役所

松浦総務部長  
今回の行政  
診断では、職員



数について年齢ごとの分析は行っていません。これまでの採用抑制で若年層の割合が減少し、職員の年齢構成にアンバランスが生じています。将来的な人事管理に向けて是正を図る必要があると認識しています。また、職種別の職員数の多寡についての分析は行っていませんが、部門別の業務量に応じた配置人員の診断の結果、各部門別の職員数は、ほぼ標準であるとの診断ができています。

職員管理の展開と職員の任用、雇用の充実には、職員の年齢構成の是正、人材育成の強化、女性職員の積極的活用などを図る必要があると指摘されており、社会人経験者の導入、大学卒業程度の職員採用試験の約2カ月前倒し、女性のキャリア形成の支援などに取り組みます。

## Q 産業支援制度の

### 充実について

## 高額な修繕経費の助成制度の創設について

東出雲町には蒲鉾製造会社が8社あります。古い歴史に比例して多くの工場施設や設備は古く、修繕に多額の経費をかけているのが実情です。新規の設備の支援制度に加え、修繕経費の助成制度を創設してください。

## 矢野産業観光部長 設備導入支援

事業は、補助対象を受注の拡大、生産の効率化、新製品の開発促進を図るために必要な工作機械等の取得に係る経費を対象としています。従って、既存設備の単なる更新や修繕経費の助成については考えていません。

## 松江市の新名物を作るための、安心安全に関する費用の助成制度の創設について

安心安全に関する費用が増えていますが、その経費は価格に反映できません。松江市の新名物を作るための助成として支援ができませんか伺います。

## 矢野産業観光部長 現状でも工作

機械等の生産ラインに組み込まれている金属探知機などは、設備導入補助の対象になると考えています。また、他の産地との差別化につながる

新商品の開発などは条件が合えば支援ができると考えています。ただし、細菌検査等の経費については、義務的経費として企業自ら負担するべきものと考えています。

## 松江市の特産品の蒲鉾を学校給食に定期的に取り入れることについて

小学生の蒲鉾工場見学での試食で、蒲鉾を食べたことがなく初めて食べる児童がいるということから、地域の食文化を継承する意味の蒲鉾を使うことを提案します。

## 安部副教育長 水産練り製品のう

ち、野焼き、ちくわは全て地元業者で製造されたものを使用しています。かまぼこ単体で副食材とするのではなく、具材として使用しているケースが多いからではないかと考えています。

## 中小企業プロジェクト連携支援事業補助金」の助成内容の拡大について

制度は補助対象経費の3分の2以内の額で50万円が上限です。9社でのグループでは、1社当たり5万円平均となります。上限を1社10万円とか1社増で何万増とか



蒲鉾製造機械の更新助成制度の新設を

**矢野産業観 光部長** 今後も各支援機関とまつえ産業支援センターが密接に連携を図りながら、企業の皆さん方の事務

改善をする考えはありませんか。  
**矢野産業観光部長** 補助金の上限額や対象経費を拡大する考えはありませんが、実施可能な企業の組み合わせもその都度変わっていくことも想定しており、効果的に利用していただきたいと思っています。  
**補助申請書類の作成代行や、補助制度と金融機関の融資とを一体で提案できる仕組みはできないか。**  
 零細な企業ほど日々の仕事に追われ、また事務手続きも不慣れです。加えて、高補助率だと手続きが難しくなります。まつえ産業支援センターや商工会議所、商工会でこれらの手続き代行ができないか伺います。また、補助制度と金融機関の融資とを一体で提案する仕組みはできないでしょうか。

負担の軽減も含めて取り組んでいきたいと考えています。

## Q 人口減の見込みへの対策について

日本創成会議などの衝撃の人口推計から、持続可能な自治体として生き残るため、選択と集中の考えのもと財政や市政運営の抜本的な改革への対応を問います。

また、人口流出を防ぐには、自然増への対策と社会減を招かない産業の振興による雇用の場の確保ではないかと考えますが、本市としての対策の考えを聞きます。

**星野政策部長** 持続可能な自治体として生き残るための対策として、引き続き行財政改革を進めていくとともに、中期財政見通しを毎年度ローリングすることで、財政体質の改善を図りながら、財源の確保に努めます。また、公共施設の適正化を財政見通しの中にもうまくリンクさせることも必要だと思っています。長期的な観点では、広域連携の枠組みでの議論が必要になってくると思われまます。  
**田中健康福祉部長** 自然増への対策では、段階ごとの施策が必要であると

考えています。松江市独自の支援策を実施、充実することにより子育ての負担を軽減し、産み育てやすい環境づくりを今後も進めていきます。

**矢野産業観光部長** 雇用の場の確保として、これまでの企業誘致や支援制度の拡充による企業力の強化を図り、雇用の拡大を図っていきます。

## Q 錦織 圭選手に 名誉市民などの顕彰を

本市出身でプロテニス選手の錦織 圭選手は、日本男子初の世界ランキングトップ10入りを果たしました。この快挙は、国民に夢や希望を与えるもので、錦織選手を輩出した本市としても名誉市民などの顕彰をする考えはありませんか。

**松浦市長** 国や他自治体を調べてみると、栄誉賞という形で、しかも一定の賞をとった段階で表彰している例があります。まだまだ錦織選手は若く、これから更に上を目指して頑張っていたり必要があります。励ましを二層やっつけていき、その上で対応を考えていきたいと思えます。  
 (一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています)

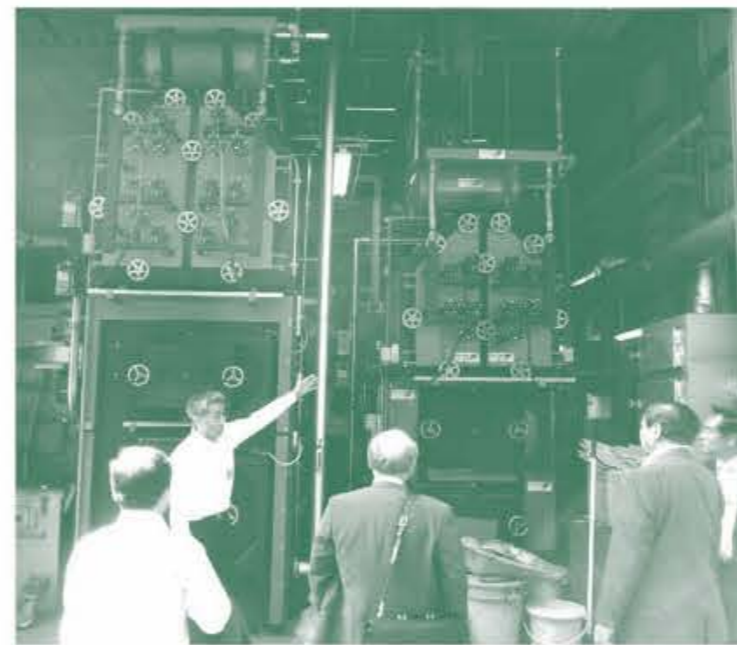
## 9月議会・決算特別委員会等 予定

- 10日(水) 本会議(委員長報告、討論・採決・提案説明、決算特別委員会設置、決算特別委員会(正副委員長互選))
- 16日(火) 一般質問
- 17日(水) 一般質問
- 18日(木) 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 19日(金) 決算特別委員会(総括質疑、議案質疑、分科会委託)
- 22日(月) 総務委員会・決算特別委員会総務分科会・教育民生委員会・決算特別委員会教育民生分科会
- 24日(水) 総務委員会・決算特別委員会総務分科会・教育民生委員会・決算特別委員会教育民生分科会
- 25日(木) 経済委員会・決算特別委員会経済分科会
- 26日(金) 建設環境委員会・決算特別委員会建設環境分科会
- 10月1日(水) 決算特別委員会(分科会長報告・質疑・採決)
- 6日(月) 本会議(委員長報告、質疑・討論・採決)、閉会

# 最近の活動から

## 徳島県上勝町の元気に学ぶ

5月19日、多党派の学習グループ「松江市議会竹の子クラブ」は、徳島県上勝町に研修に行きました。山間の高齢者比率50%超の小町ですが、葉っぱを売る「いろどり」の活動や、ゴミゼロ運動が有名。また、木質バイオマス事業は、間伐材等の未利用木材を木質チップボイラー燃料にして、温泉施設に利用されていました。経費的にも重油ボイラーよりも安価で、化石燃料の利用削減によるCO2排出抑制を図り、地球環境をよくするとともに、地域経済も好循環する仕組みに好感を持ちました。女性・高齢者の出番をつくり、住民参加による元気なまちづくりを学びました。



2台の木質チップボイラー施設

## 島根県商工会青年部研修会に出席しました

7月5日、島根県商工会青年部研修会が、東出雲ふれあい会館で開催されました。

島根県下からの約200名が出席された研修会の開会式、野々内は来賓あいさつで「雇用が地域を元気にします。皆さんはその中心としてまちづくりの力になってください」と述べました。研修会はその後、全国商工会青年部主張発表大会島根県予選会や異業種交流会などが行われました。



開会式であいさつ

## 東アジアにおける防衛問題などを研修

野々内が所属する松江市議会会派・松政クラブの研修に参加しました。7月7日は東京で、国立国会図書館の職員から「東アジアにおける防衛問題」、「日本と他国における選挙制度の比較」について学びました。

7月8日は愛知県豊田市に移動し、スマートハウス(ITを駆使してエネルギーを賢く使うスマートな家のこと)や、次世代型低炭素交通システムの取り組みとして、充電施設や市内で整備が進む水素ステーションについても研修しました。今年中に発売予定の水素電池自動車用のスタンドが市内に2基整備される先駆性にびっくりし、環境先進都市としての取り組みに驚嘆しました。松江市でも一つでも取り入れる必要を強く感じました。

7月9日は愛知県丹羽郡大口町を訪れました。松江開府の祖、堀尾吉晴公の生誕の地です。近年は約70社の企業誘致に成功し、昭和56年から財政力指数は1以上で交付税不交付団体です。大口町役場や大口町歴史民俗資料館での研修、堀尾史跡顕彰会の皆さんとの意見交換や交流を行いました。町挙げての歓待に、色々な形でもっと交流が深まるといいと感じました。



東京での研修

## 後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.12を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

### ◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670  
TEL・FAX / 0852-52-3117  
Eメール nonouchi@mable.ne.jp  
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>



ホームページを開設しています。  
ブログもやっています。  
お気軽にケイタイからご覧いただけます。

### ののうち誠 プロフィール

昭和25年11月26日生まれ、63歳。  
住所 / 松江市東出雲町出雲郷1670  
電話 / 0852-52-3117 (FAX兼用)

#### 【学歴】

昭和44年3月 / 島根県立松江農林高等学校卒業

#### 【職歴】

昭和44年4月～平成23年3月 / 東出雲町職員(企画財政課長、保健福祉課長、教育委員会教育次長、総務課長、参事)

平成25年4月 / 松江市議会議員選挙2期目当選、教育民生委員会委員長、議会広報等特別委員会委員長、総合交通対策特別委員会委員

#### 【活動歴】

出雲郷公民館主事(11年間)、出雲郷公民館運営委員、体育協会出雲郷支部事務局、消防団第三分団部長、出雲郷小学校PTA会長(3年間)、PTA連絡協議会会長、松江市農業委員、体育協会出雲郷副支部長、MJG島根硬式野球クラブ顧問